

目黒の寺

岡本綺堂

青空文庫

住み馴れた麴こうじまち町を去つて、目黒に移住してから足かけ六年になる。そのあいだに『目黒町誌』をたよりにして、区内の旧蹟や名所などを尋ね廻っているが、目黒もなかなか広い。殊ことに新市域に編入されてからは、碑ひぶすまちよう衾町をも包含することになったので、私のような出不精の者には容易に廻り切れない。

ほか土地はともあれ、せめて自分の居住する区内の地理だけでも一通りは心得ておくべきであると思ひながら、いまだに果し得ないのは甚だお恥かしい次第である。その罪ほろぼしというわけでもないが、目黒の寺々について少しばかり思い附いたことを書いてみる。

目黒には有名な寺が多い。先^まず第一には目黒不動として知られている下目黒の滝泉寺^{りゆうせんじ}、祐天上人開山として知られている中目黒の祐天寺、政岡^{まさおか}の墓の所在地として知られている上目黒の正覚寺^{ようかくじ}などを始めとして、大小十六の寺院がある。私はまだその半分ぐらいいしか尋ねていないので、詳しいことを語るわけには行かないが、いずれも由緒の古い寺々で、旧市内の寺院とはおのずからその趣^{こと}を異にし、雑踏を嫌う私たちには好い散歩区域である。ただ、どこの寺でも鐘を撞^つかないのがさびしい。

目黒には寺々あれど鐘鳴らず鐘は鳴らねど秋の日暮るる



前にいった滝泉寺門前の料理屋角伊勢の庭内に、例の権ごんぱち八小ちこ
むらさき

紫の比翼塚が残っていることは、江戸以来あまりにも有名である。近頃はここに花柳界も新しく開けたので、比翼塚に線香を供える者がますます多くなつたらしい。さびしい目黒村の古塚の下に、久しく眠っていた恋人らの魂も、このごろの新市内の繁昌には少しく驚かされているかも知れない。

正覚寺にある政岡の墓地には、比翼塚ほどの参詣人さんけいじんを見ないようであるが、近年その寺内に襦うちかけ襦かけ姿の大きい銅像が建立されて、人の注意を惹ひくようになった。いうまでもなく、政岡という

のは芝居の仮名で、本人は三沢初子である。初子の墓は仙台にもあるが、ここが本当の墳墓であるという。いずれにしても、小紫といい、政岡といい、芝居で有名の女たちの墓地が、さのみ遠からざる所に列んでならいるのも、私にはなつかしく思われた。

草青み目黒は政岡小むらさき芝居の女おくつき所



寺を語れば、ぎようにんざか行人坂の大円寺をも語らなければならぬ。

行人坂は下目黒にあつて、寛永の頃、ここに湯殿山行人派の寺が開かれたために、坂の名を行人と呼ぶことになったという。そん

な考証はしばらく措おいて、目黒行人坂の名が江戸人にあまねく知られるようになったのは、明和年間の大火、いわゆる行人坂の火事以来である。

行人坂の大円寺に、通称長五郎坊主という悪僧があつた。彼は放蕩破戒のために、住職や檀家に憎まれたのを恨んで、明和九年二月二十八日の正午頃、わが住む寺に放火した。折から西南の風が強かつたので、その火は白金、麻布方面から江戸へ燃えひろがり、下町全部と丸の内を焼いた。江戸開府以来の大火は、明暦の振袖火事と明和の行人坂火事で、相撲でいえば両横綱の格であるから、行人坂の名が江戸人の頭脳に深く刻み込まれたのも無理はなかつた。

そういう歴史も現代の東京人に忘れられて、坂の名のみが昔ながらに残っている。

かぐつちは目黒の寺に崇りして長五郎坊主江戸を焼きけり



滝泉寺には比翼塚以外に有名の墓があるが、これは比較的^よに知られていない。遊女の艶話は一般に喧伝^{やす}され易く、学者の功績はとかく忘却され易いのも、世の習であろう。それはいわゆる甘^{かん}藪^よ先生の青木昆陽の墓である。もつとも境内の丘上と丘下に二つの碑が建てられていて、その一は明治三十五年中に、芝、麻布、

赤坂三区内の焼芋商らが建立したものの、他は明治四十四年中に、都下の名士、学者、甘藷商らによつて建立されたものである。

こういうわけで、甘藷先生が薩摩芋移植の功労者であることは、学者や一部の人々のあいだには長く記憶されているが、一般の人はなんにも知らず、不動参詣の女たちも全く無頓着で通り過ぎてしまうのは、残念であるといわなければなるまい。

芋食ひの美少女うまをとめら知るや如何に目黒に甘藷先生の墓

青空文庫情報

底本：「岡本綺堂随筆集」岩波文庫、岩波書店

2007（平成19）年10月16日第1刷発行

2008（平成20）年5月23日第4刷発行

底本の親本：「短歌研究」

1938（昭和13）年11月号

初出：「短歌研究」

1938（昭和13）年11月号

入力：川山隆

校正：noriko saito

2008年11月29日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

目黒の寺

岡本綺堂

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>